



Professor  
Electrical and Computer  
Engineering  
University of Louisville  
Louisville, Kentucky, USA  
ph: +1 502 852 6314  
j.zurada@ieee.org  
linkedin.com/in/jacekzurada

Visit [www.jacekzurada.org](http://www.jacekzurada.org)  
for more information



ADD TO 罫



### 日本のIEEE会員の皆様へ

本年の8月15日(火)から10月2日(月)に行われます2019年度のIEEE会長選挙に際し、私は、誠実で勤勉で学会運営に明るい Jacek Zurada 教授を強く支持したいと思います。どうかIEEEの発展のために、皆様方のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

崇城大学 副学長, (一財)ファジシステム研究所 所長

Takeshi Yamakawa

2008 IEEE Fuzzy Systems Pioneer Awardee & IEEE Life Fellow

#### 【経歴】

- ★ 米国, ルーイビル大学 電気・計算機工学科 教授
- ★ 計算機能およびマイクロエレクトロニック・システムの分野で, 数冊の教科書および420報以上の論文を執筆. その結果, 11,900報の論文に引用.
- ★ IEEE 副会長(技術活動担当)(2014年).
- ★ 定期刊行物, 会員向けのサービスおよび商品, 技術活動委員(Technical Activities Boards: TAB)における指導的立場. 特に, 定期刊行物委員会委員長およびの審査・出版委員会委員長(2010~2013年).
- ★ IEEE Computational Intelligence Society 会長(2004~2005年).
- ★ IEEE Trans. on Neural Networks の編集長(1998~2003年).
- ★ IEEE Life Fellow. 複数の名誉博士号およびポーランド科学アカデミー会員.

#### 【IEEE における功績と資質】

Zurada 教授は, これまで幅広いIEEEボランティア業務で活動し, 技術活動委員会の投票会員(7年間), PSPB(2年間), MGA(2年間)など, 技術活動分野において重責を果たしてきました. また, IEEEの国際的活動を推進することや, エンジニアや専門家のニーズに応えることにも大きな関心を持ってきました. さらに, IEEEにおいて様々な視点とユニークな体験をもたらし, 主な3つの委員会を牽引してきました. Zurada 教授は, IEEEの出版事業, プロダクト, ビジネスおよび国際会議に関する幅広い知識を持っていますので, IEEE会長としての任務を十二分に全うできることは間違いありません.

#### 【Zurada 教授の決意表明】

IEEE は, 人類の利益のために技術革新を発展させ, IEEE会員のみならず全人類に奉仕する唯一のしかも広く認知された組織であります. 技術とグローバリゼーションの速い動きは混迷しているように見えるかもしれませんが, IEEEはそれを, 成長し開花するチャンスであるととらえています. その花を咲かせるためには, IEEE会長は, 大勢のボランティアの膨大なエネルギーと, 考えを共有するところから生まれる独創性を大いに利用し, 本学会を拡充・強化するために指導的役割を担う必要があります.

もし, 私がIEEE会長に選出された場合には, IEEEの守備範囲とパブリック・イメージの両方を発展させ, かつ下記の事項を通してIEEE会員の利益向上のために邁進することを約束いたします.

- ★ IEEEのジャーナル, マガジン, 国際会議において, 最上級で実践的内容を届ける.
- ★ 会員がその専門分野で時代遅れにならないように支援する.
- ★ IEEEの専門領域内で, 技術の今後に向けて投資する.
- ★ IEEE教育プログラムを工業熟練者にまで拡張する.
- ★ 会員になる可能性のある新しい地域(特に新興経済国)や, IEEE会員で十分にサービスを受けていない人たちに手を差し伸べる.
- ★ 変化と革新と会員平等を約束する.

投票期間: 2018年8月15日(火)~10月1日(月)

(詳しくは, 選挙サイト: [www.ieee.org/elections](http://www.ieee.org/elections)をご覧ください.)

皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます.